

北海道病院協会、全日本病院協会北海道支部 共催
2025年度病院看護師のための認知症対応力向上研修会日程表

配信会場:TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 5B (札幌市中央区北4条西6丁目 毎日札幌会館 5階)

【第1日目】 2025年7月25日(金) 9:55～16:50

時 間	講 義	講 師
9:55～	開会	
10:00～12:00:	「行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法」 認知症ケアを進めるうえで行動障害・精神症状、せん妄へ正しく理解することが重要な課題であり、ここでは、認知症患者にみられる行動障害・精神症状の成り立ちや種類、要因を学ぶことにより、正しい理解と対策のしかたを学習する。さらに高齢入院患者にみられる夜間せん妄の病態と予防を考える。	医療法人資生会 千歳病院 臨床精神医学研究所 所長 中野 倫仁 氏
12:00～13:00	昼 休 憩	
13:00～14:00	「タクティール・ケア」の実践 「タクティール」は「触れる」という意味のラテン語に由来し、患者に優しい接触を継続的に行うことで相手の不安な感情を取り除き、コミュニケーション能力向上や攻撃性・自虐性を減少させる効果があるとされ、認知症など様々な分野で活用されている。本講義では、「タクティール・ケア」の実践について学ぶ。	社会医療法人禎心会 介護老人保健施設ら・ぱーす 療養長 看護師 笹田 洋子 氏 (JSCiシルヴィアホーム認定インストラクター)
14:00～14:10	休 憩	
14:10～15:10	「認知症ケアに関連する倫理的課題と意思決定支援」 認知症患者に特有な倫理的課題を多角的かつ構造的に捉えて、問題解決に向けて対応出来る能力を養う。	社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院 認知症看護認定看護師 曾根 瑞穂 氏
15:10～15:20	休 憩	
15:20～16:50	「患者及び介護家族とのコミュニケーション方法並びに療養環境の調整の方法」 認知症患者との心理・行動を理解したうえで適切なコミュニケーションの方法について学ぶとともに家族と暮らしてきた生活環境をベースに院内での療養環境の調整方法を考え、安全で快適な生活環境づくりが実践できる能力を養う。	社会福祉法人湊仁会 手稲つむぎの杜 在宅事業部 地域密着型サービス 担当課長 二瓶むつみ 氏

【第2日目】 2025年7月26日(土) 10:00～16:50

時 間	研修項目	講 師
10:00～12:00	「認知症の原因疾患と病態・治療」 認知症の原因疾患を正しく理解するとともにアルツハイマー型認知症と血管性認知症、レビー小体型認知症など病態の解説と薬物療法について学ぶ。	砂川市立病院 認知症疾患医療センター長 畠山 茂樹 氏
12:00～13:00	昼 休 憩	
13:00～14:00	「地域で見守る認知症～より良い連携をめざして～」 地域でいつまでも暮らしたいと願っている認知症高齢者を支えていく主体は、行政だけではなく、医療や介護関係者との協働はもちろんのこと、住民全体が自らが当事者であることを認識して主体的に参加することが重要。砂川市立病院の取り組みを学ぶ。	砂川市立病院 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 大辻 誠司 氏
14:00～14:10	休 憩	
14:10～16:40	「入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助スキル」 認知症の人が身体疾患で入院を余儀なくされたとき、病棟においていろいろな行動障害・精神症状がみられることが少なくない。症状の軽減や適切なケアを行うためには、まず正確なアセスメントが必要となる。それと同時に援助スキルを身につけられる能力を養う。 (演習) グループワークを通じて入院認知症患者にみられる行動障害・精神症状への適切なアセスメントの方法・援助スキルを考えていく。	砂川市立病院 認知症疾患医療センター 看護師長 認知症看護認定看護師 福田 智子 氏
16:40～16:50	事務連絡 閉会	